

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >**⚠ 注意**

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・設置場所の確認をしてください。
 - ※ 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ※ 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ※ 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。

**お願い**

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書およびハイブリッドルーフHA型の取付説明書〈E445〉をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ : 2.5N・m ± 0.5N・m
 - ※φ5ネジ : 3.0N・m ± 0.5N・m
 - ※M6ボルト : 12.0N・m ± 0.5N・m

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

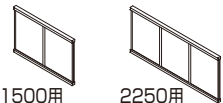



< 施工の後に >

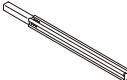
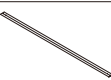


⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。

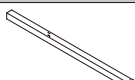

梱包明細表













※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】 パネル本体		員数	
名称	略図	1500用	2250用
パネル本体		1	1
パネルカバー		2	2
上下棧スリーブ		2	2
【1-1】φ4×16 ナベタッピンネジ3種		4	4

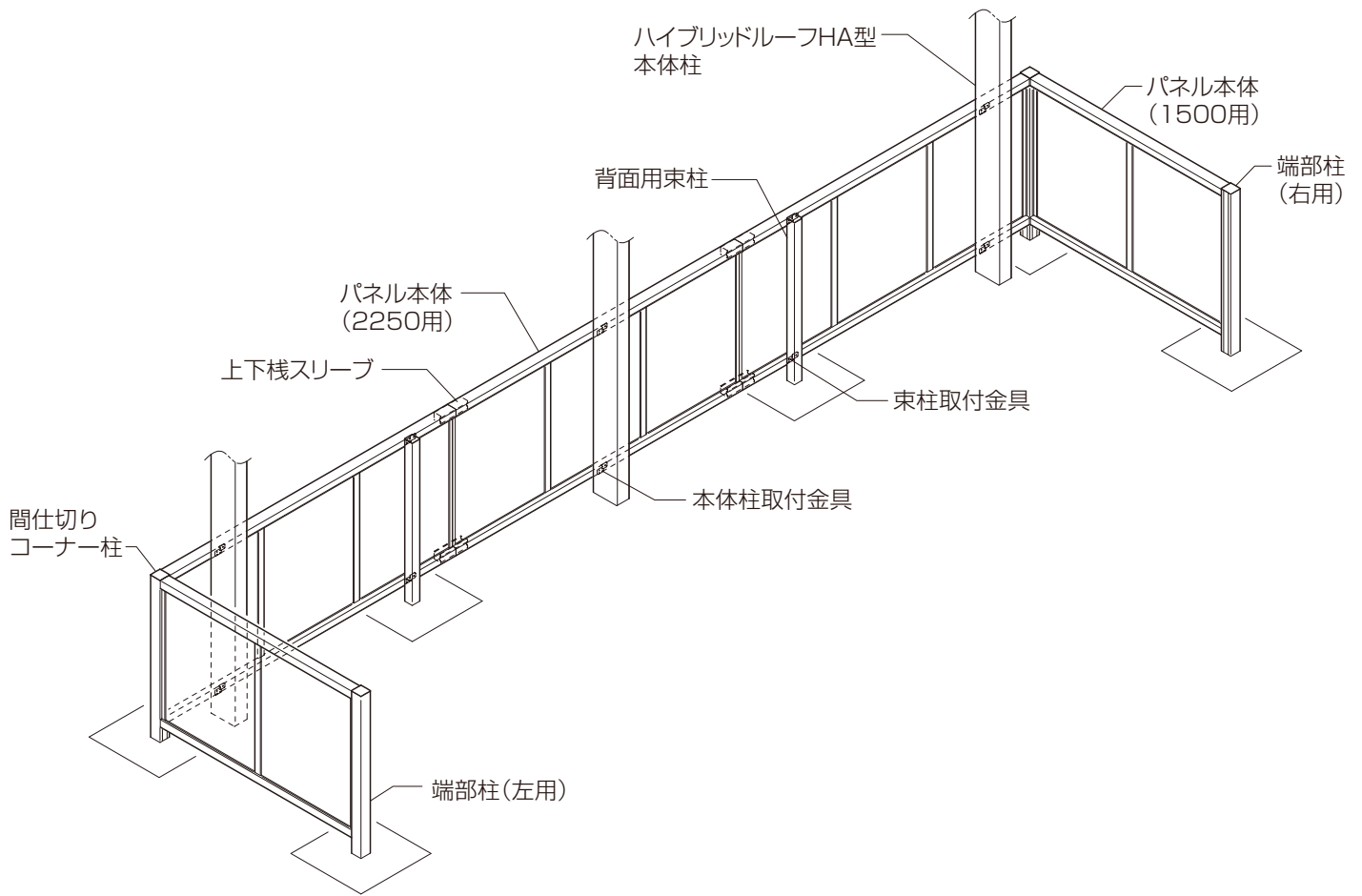
【2】 間仕切りコーナー柱セット		員数
名称	略図	
間仕切りコーナー柱		1
柱カバー凹有上部		2
柱カバー凹無下部		2
柱キャップ		1

【3】 端部柱セット		員数
名称	略図	
端部柱		1
柱カバー凹有上部		1
柱カバー凹無下部		1
柱カバー凹無		1
柱キャップ		1

【4】 背面用束柱		員数
名称	略図	
背面用束柱		1
束柱キャップ		1

【5】 部品セット	名称	略図	員数				
			コーナー柱用	端部柱用	背面束柱用	600・700用 本体柱	1500用 本体柱
	間仕切り柱取付金具		4	2	—	—	—
	束柱取付金具		—	—	2	—	—
	上下棧取付裏板		—	—	2	2	2
	本体柱取付金具		—	—	—	2	2
	1500用スペーサー		—	—	—	—	2
	【5-1】φ5×50 ナベタッピンネジ2種		8	4	—	—	—
	【5-2】φ5×16 ナベタッピンネジ3種		—	—	8	—	—
	【5-3】φ4×16 ナベタッピンネジ3種		5	3	1	—	—
	【5-4】M6×12 六角ボルトSW		—	—	2	2	2
	【5-5】φ5×20 ナベタッピンネジ3種		—	—	—	8	8
	【5-6】M5バネ座金		—	—	8	8	8
	取付説明書		—	1	—	—	—

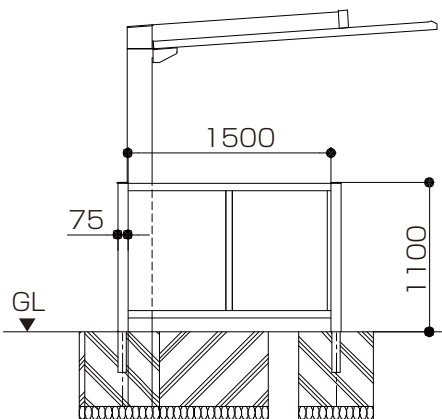
各部の名称



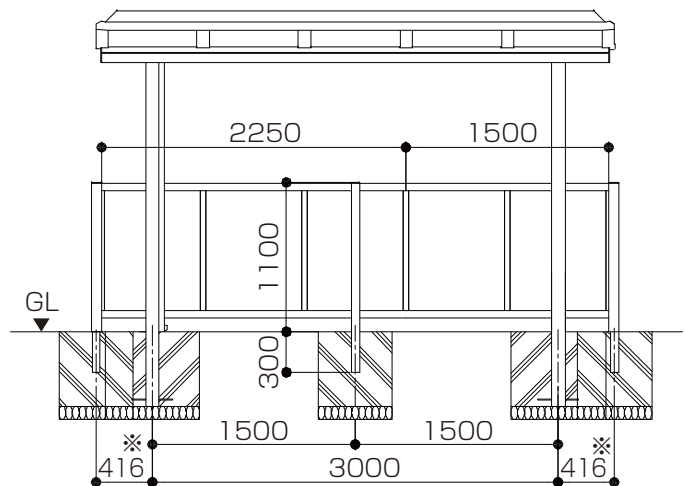
施工方法

600・1500用姿図

【側面図】



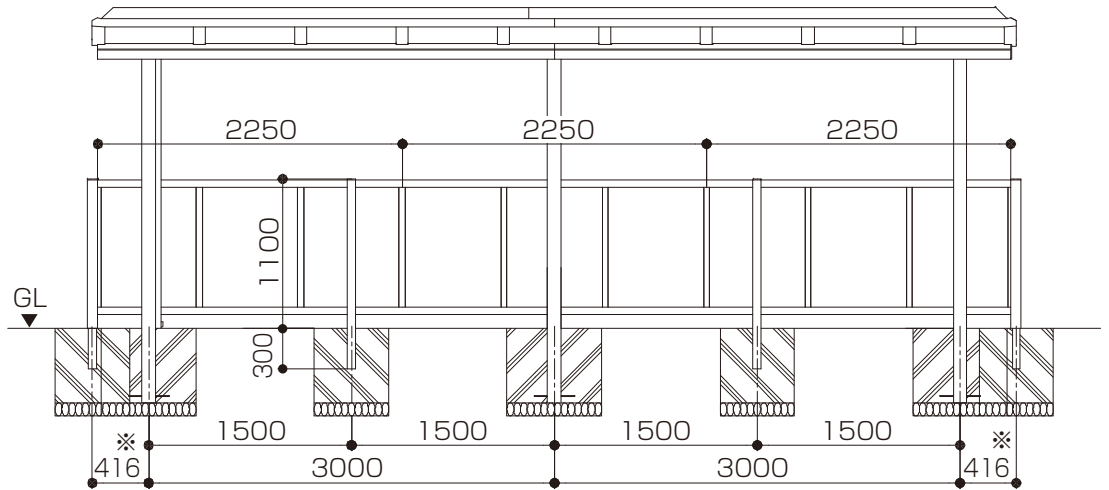
【単体38型正面図】



※本体柱芯～間仕切りコーナー柱の埋込アンカー芯までの寸法です。

■600・1500用姿図（つづき）

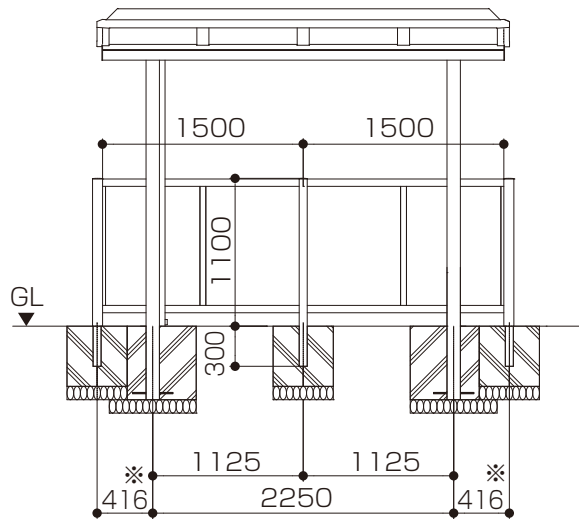
【単体68型正面図】



※本体柱芯～間仕切りコーナー柱の埋込アンカー芯までの寸法です。

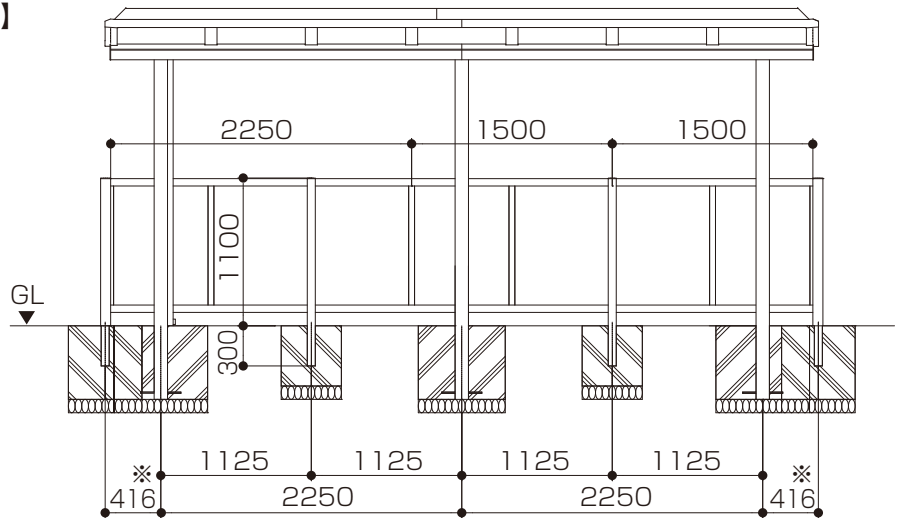
■700用姿図

【単体31型正面図】



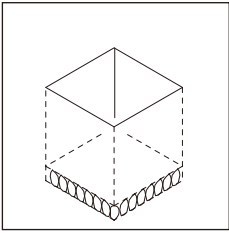
※本体柱芯～間仕切りコーナー柱の埋込アンカー芯までの寸法です。

【単体53型正面図】

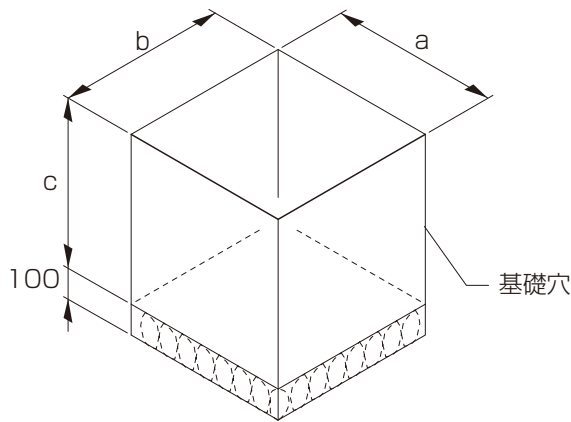


※本体柱芯～間仕切りコーナー柱の埋込アンカー芯までの寸法です。

1 基礎の墨出し

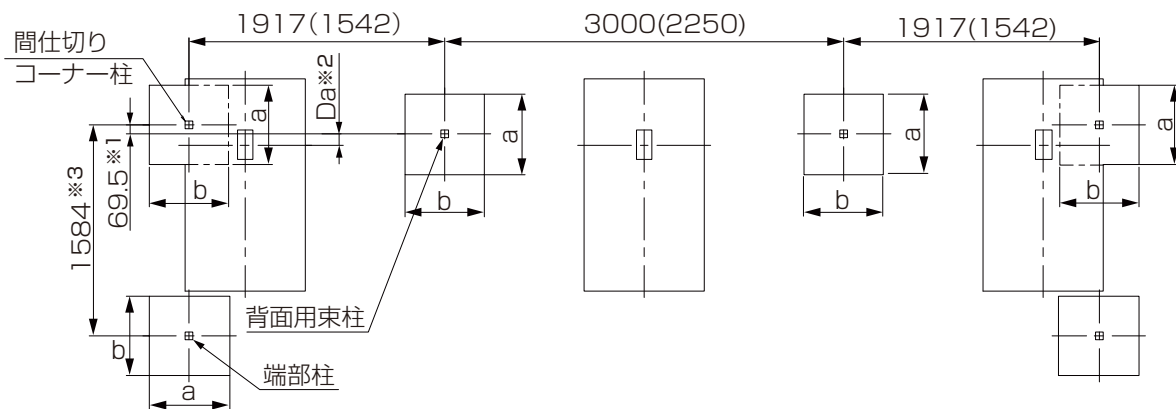


①間仕切りコーナー柱、端部柱および背面用束柱の埋め込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。
基礎を打設しておく場合には、間仕切りコーナー柱と端部柱を施工する基礎に最低φ150の柱埋設用の穴を設けてください。



	600用	700用	1500用
a	550	450	600
b	550	450	600
c	550	550	550

	600用	700用	1500用
Da	62.5	62.5	80.5



※()の寸法は700用を示します。

本体基礎を施工する場合、サイドパネル基礎を確保してください。

※1 間仕切りコーナー柱アンカー芯～背面用束柱芯までの寸法です。

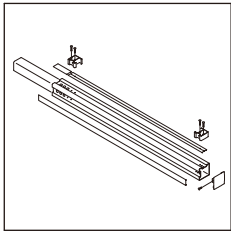
※2 本体柱芯～背面用束柱芯までの寸法です。

※3 間仕切りコーナー柱アンカー芯～端部柱アンカー芯までの寸法です。

補 足

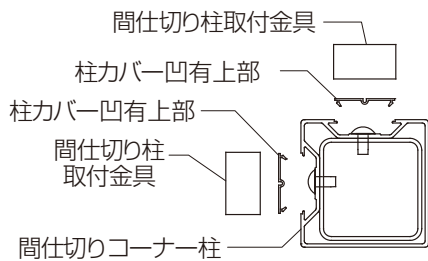
基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²の時の参考寸法です。

2 間仕切りコーナー柱、端部柱の組立て



間仕切りコーナー柱

- ① 柱キャップを間仕切りコーナー柱に【5-3】で取付けてください。
- ② 柱カバー凹有上部、柱カバー凹無下部を間仕切りコーナー柱に取付けてください。
- ③ 間仕切り柱取付金具を間仕切りコーナー柱に【5-1】で取付けてください。

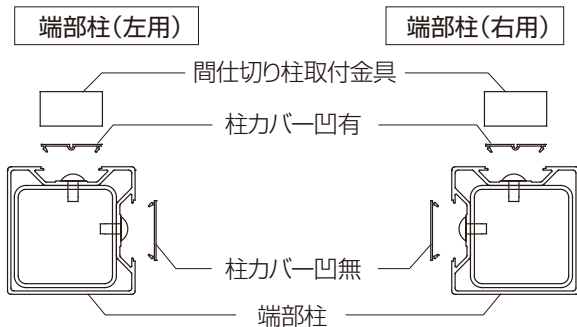


端部柱

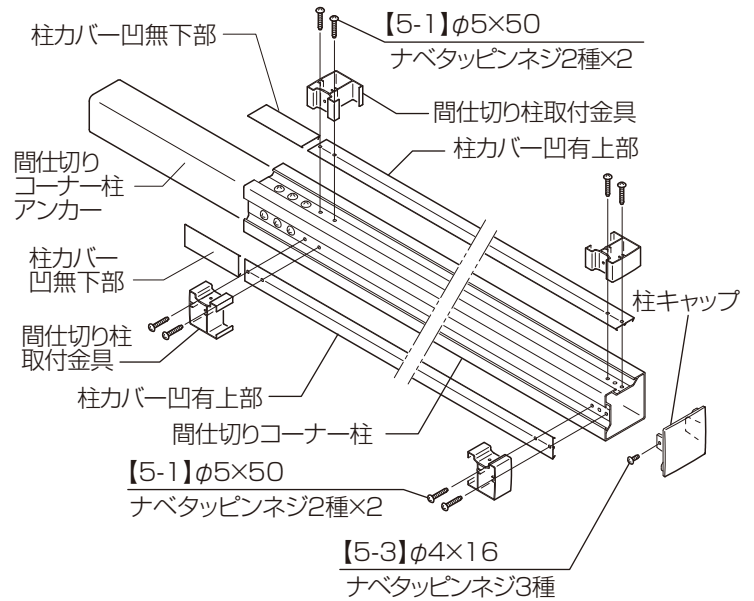
- ① 柱キャップを端部柱に【5-3】で取付けてください。
- ② 柱カバー凹有上部、柱カバー凹無下部、柱カバー凹無を端部柱に取付けてください。
※ 下図を参照し、端部柱(右用)、端部柱(左用)を1本ずつ組立ててください。
- ③ 間仕切り柱取付金具を端部柱(右用)、端部柱(左用)に【5-1】で取付けてください。

お願い

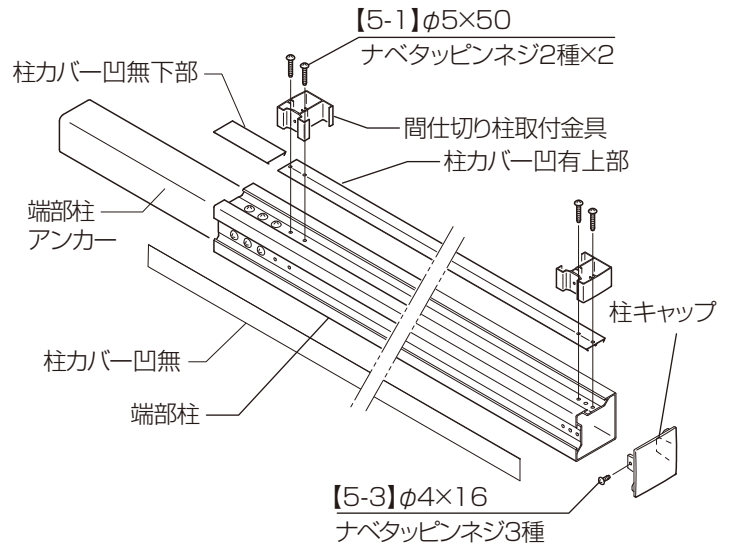
- ・ 端部柱に柱カバー凹有上部を取付ける際は、左右をまちがえないでください。



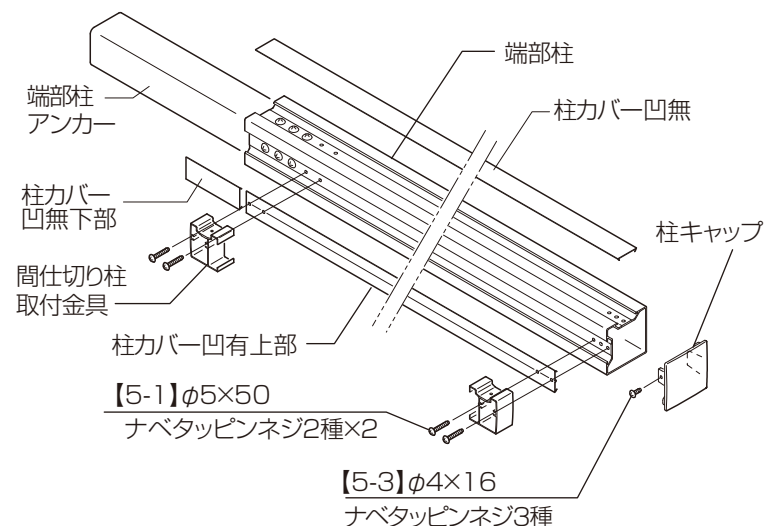
●間仕切りコーナー柱の組立て



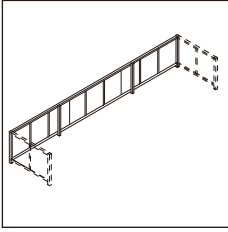
●端部柱(右用)の組立て



●端部柱(左用)の組立て



4 背面パネルの取付け



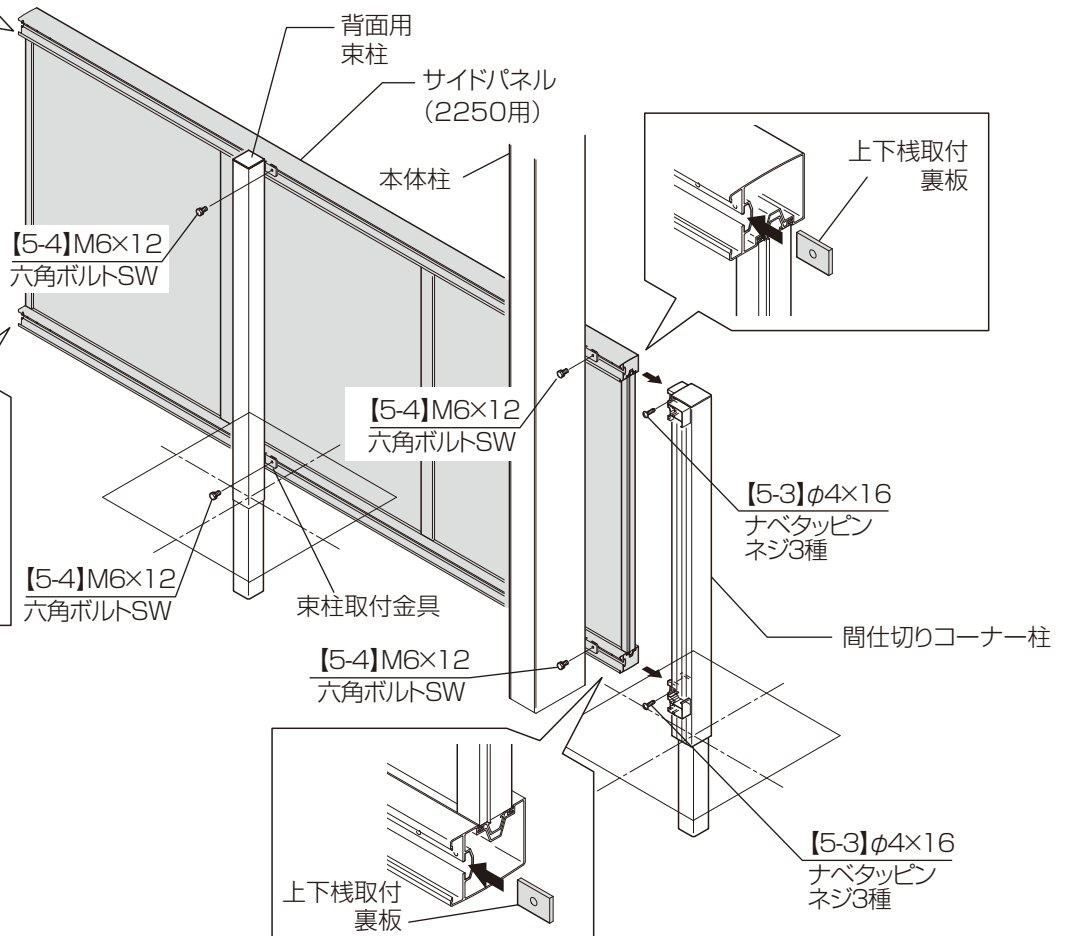
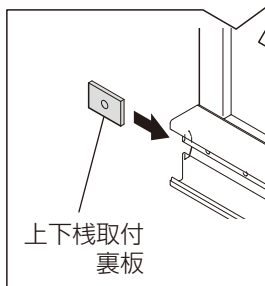
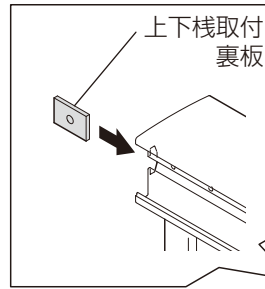
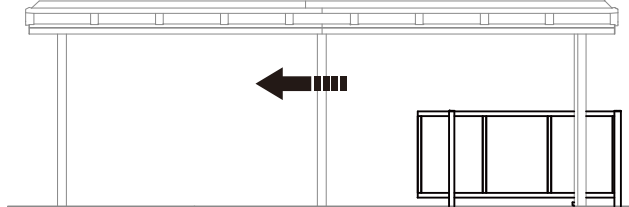
- ①上下棧取付裏板をサイドパネルに差込んでください。
- ②サイドパネルを間仕切りコーナー柱に差込み、【5-3】で取付けてください。
- ③①で差込んだ上下棧取付裏板を、本体柱取付金具、束柱取付金具の位置へ移動させ、【5-4】でサイドパネルに取付けてください。

補足

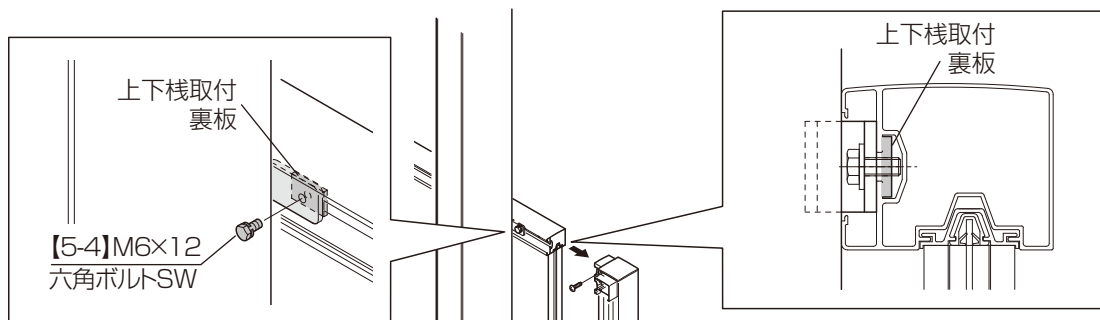
基礎コンクリートを打設するまでは柱が倒れないように添え木などをしてください。

お願い

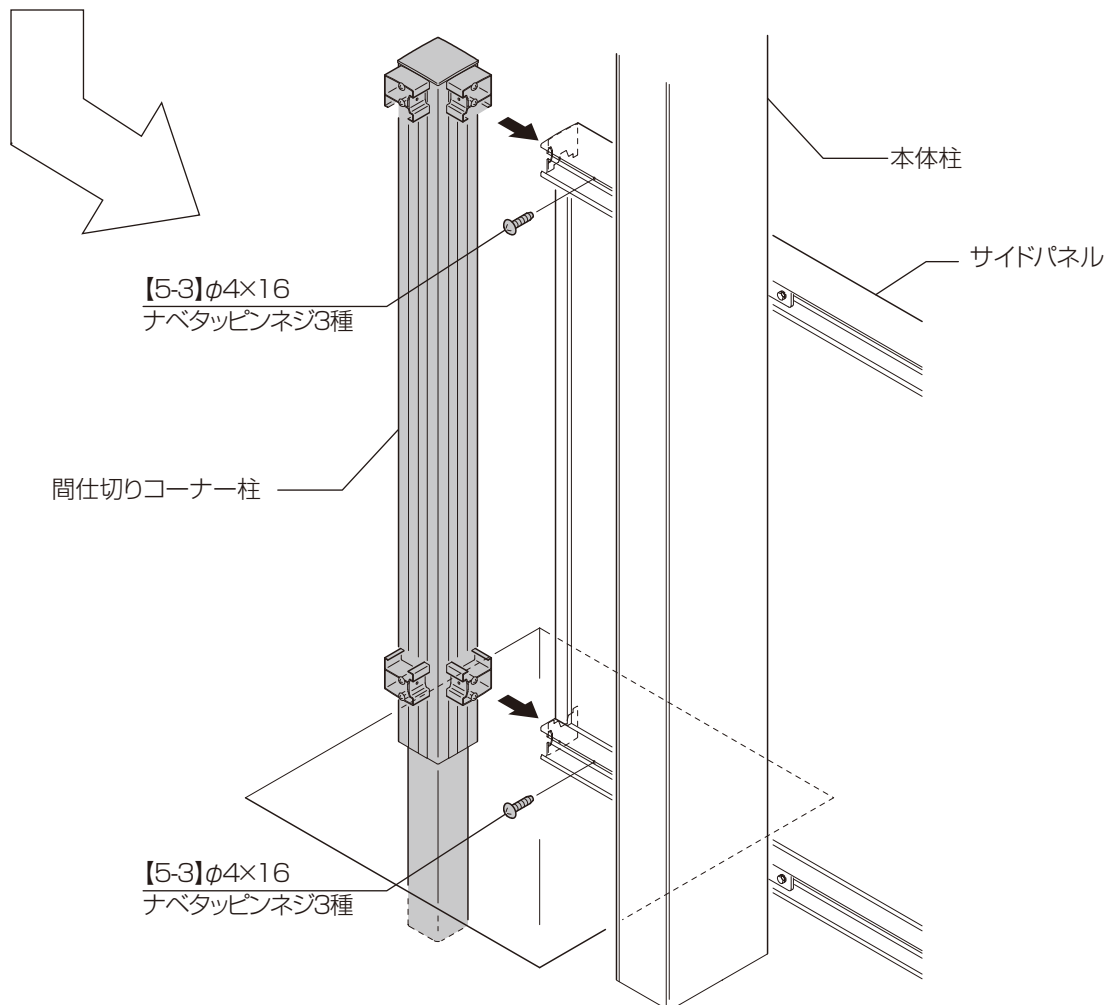
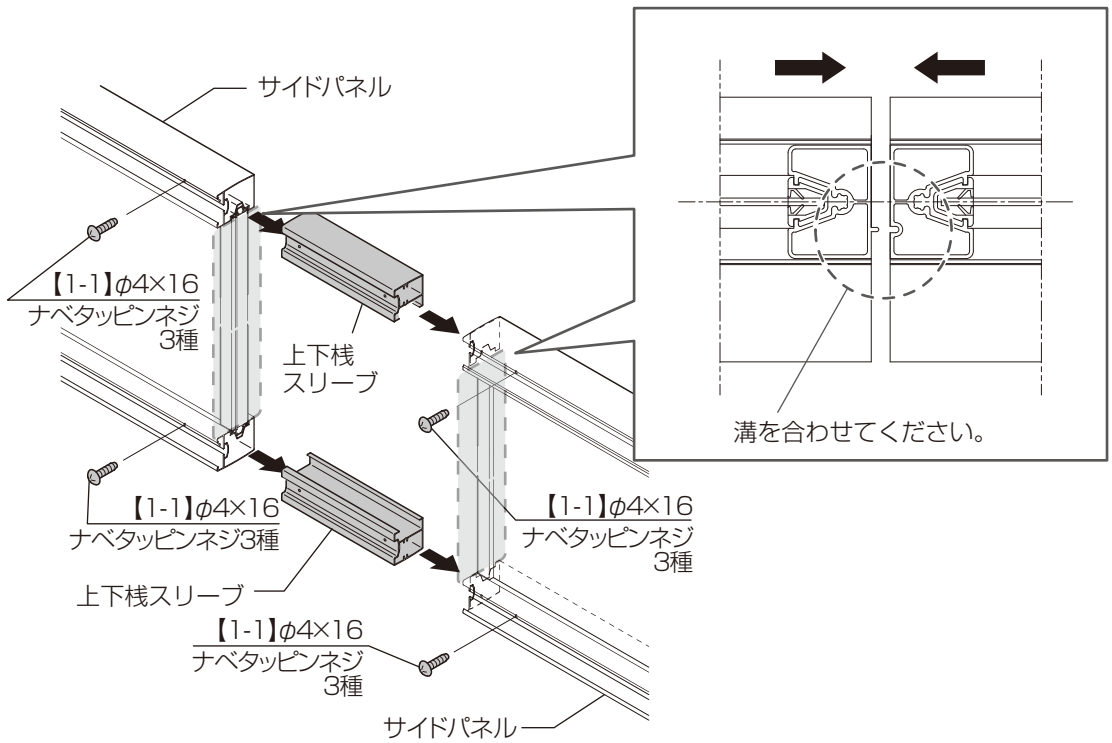
- ・背面側のサイドパネルは片側から施工してください。



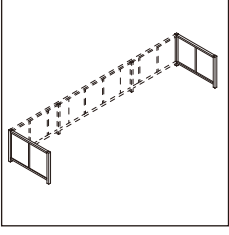
●本体柱、背面用束柱への固定



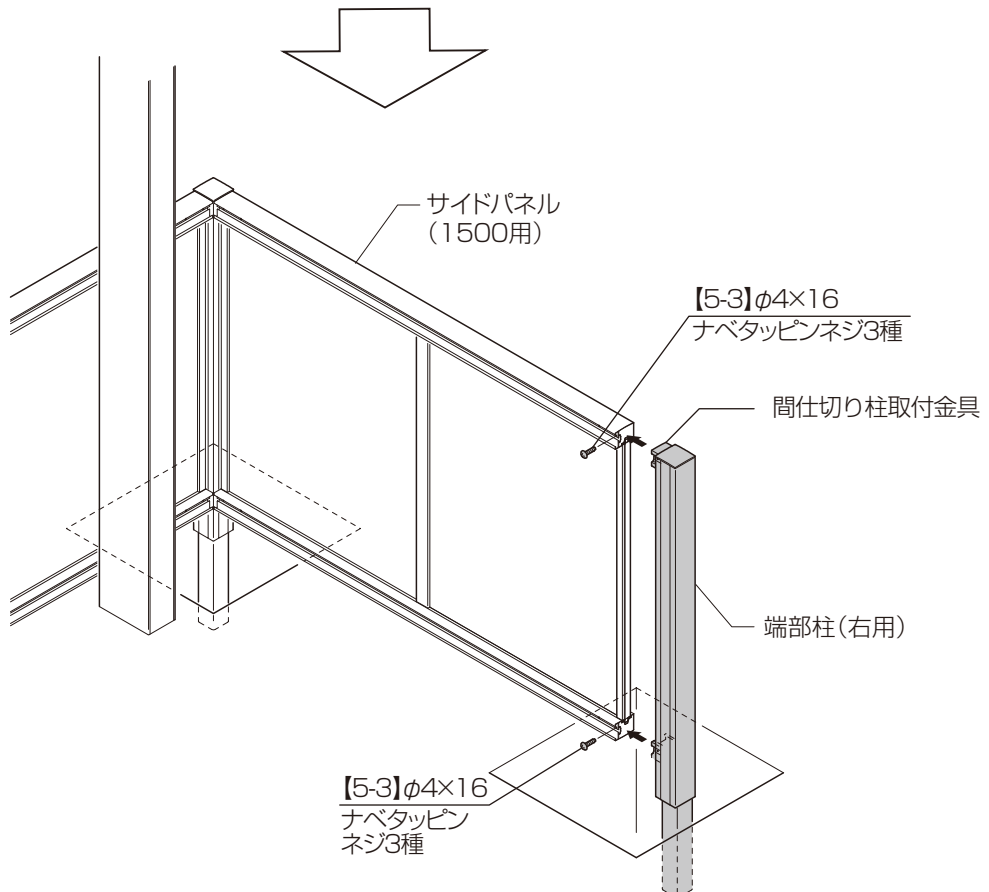
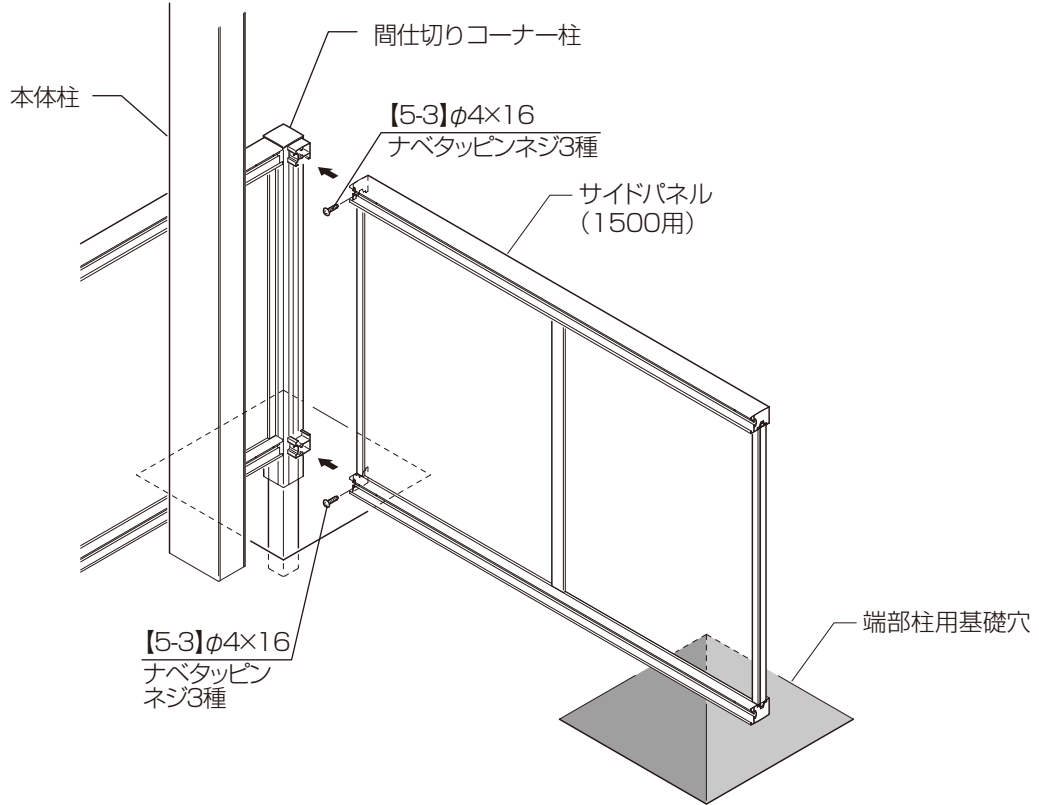
- ④上下棧スリーブをサイドパネルに差込み、【1-1】で取付けてください。
- ⑤連結させるサイドパネルを上下棧スリーブに差込み、【1-1】で取付けてください。
- ⑥間仕切りコーナー柱をサイドパネルに差込み、【5-3】で取付けてください。



5 側面パネルの取付け



- ①側面パネルを間仕切りコーナー柱に差込み、【5-3】で取付けてください。
 - ②端部柱を側面パネルに差込み、【5-3】で取付けてください。
 - ③端部柱を建て込んでください。
- ※側面パネル右側と、左側は同じ手順で組付けます。



6 基礎の施工

- ① ■基礎の墨出しで掘った基礎穴にコンクリートを打設してください。

お願い

柱の垂直を確認してください。

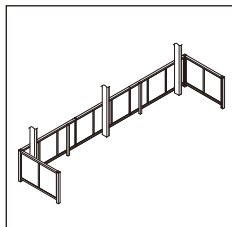
補足

コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。

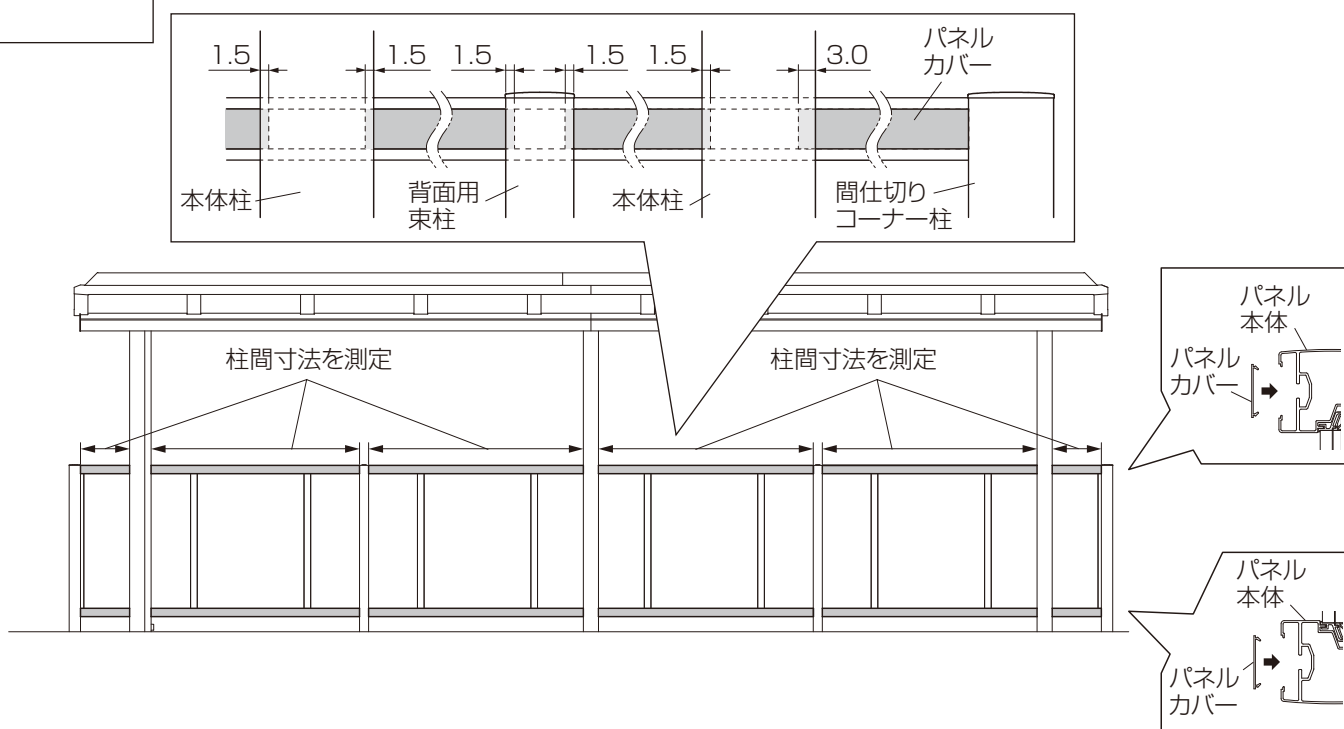
お願い

パネルカバーは柱間寸法よりも3mm長く切断し、パネルカバー端部が柱の背面に隠れるように取付けてください。

7 パネルカバーの取付け



- ① 柱間の寸法を測り、パネルカバーを切断してください。
② 切断したパネルカバーを取付けてください。

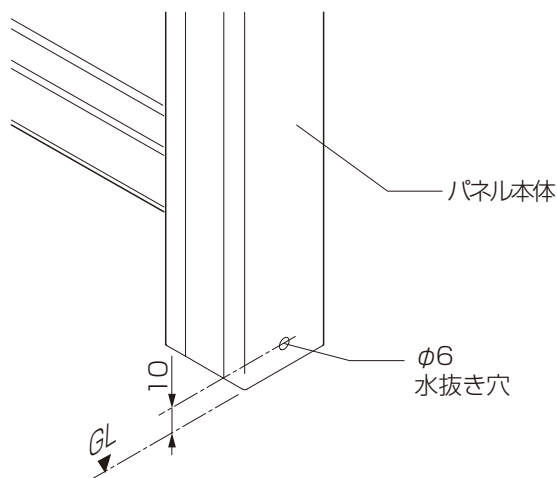


8 水抜き穴の加工

- ① 間仕切りコーナー柱、端部柱の地上側高さ10mmに柱アンカーまで貫通してφ6の水抜き穴をあけてください。

⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



取説コード

E446

JZZ633854A
201705A_1048
201707B_1048